



Sumiyoshi jinja Osaka
Brief history - 9 dees of festivals

住吉大社御由緒略記



卦吉大捕崎由嶽御信

十月十八日

新あらた寶たから乃の

嘗かしこ市ち

祭まつり神かみ

事こと

十二

月

廿六日

除と煤すす

夜よ

祭まつり式しき

境外

住吉神社
大歲神社
淺澤神社
末社
御祭神

住吉四柱大神
御年神
市杵嶋姬命
多支津姬命

(大阪築港 = 鎮座)
本(澤社) 津姫命
多支津姬命

津守國基靈
津守國助靈
興臺產靈
宇賀魂神

津守國基靈
津守國助靈
興臺產靈
宇賀魂神

津守國基靈
津守國助靈
興臺產靈
宇賀魂神

高木氏祖靈
津守國基靈
津守國助靈
興臺產靈

侍者社
田裳見宿禰
市姫

末社御祭神

船安玉神社

若宮八幡神社

志賀神社

大海神社

攝社御祭神

住吉造り特別保護建造物

御社殿

り後後に皇太后を奉祀して四座となれり

式内

猿田彦命
建内宿禰座媛
三豐

天皇命
船天童彦
鳥神少玉
應海豐

なるに大直おほなほの日のさめ生なまは給たまたりとの處ところに伊い穢けがれ
 以下した瀨せを給たまは是こゝは太おほくはんたしまたに到いたるに既すで
 以も矯たむる神かみ又またと海うみを弱よわしして潔けがれぬ故ゆゑに還かへり
 底そこに生なまけと乃すなはち破やぶれちて當あたりて故ゆゑに還かへり
 洗あらはめて曰まちひ興おこし紫むらし身みひ追おひ
 濯すすぐ神かみ十とを言い給たまは日ひの濁にごる悔くみ
 因よりて神かみ中なかつの曰または日ひの穢けがれ
 以もて神かみと神かみに瀨せく身みの橋はらはし曰または
 以もて直ただに曰または瀨せく所ところの所ところも前まへに
 生なまめ神かみと神かみに給たまは是こゝは汚けがれ戸かどの
 神かみを曰または其そのに太おほくはんたし須もとら
 號なを次つぎに神かみと神かみに給たまは是こゝは汚けがれ
 號なを次つぎに神かみと神かみに給たまは是こゝは汚けがれ

御ご由よし緒つひ

第四本宮 息長足比賣尊

第三本宮 表筒男命

第二本宮 中筒男命

第一本宮 底筒男命

御祭神

官幣大社住吉神社

攝津國 大阪府東成郡住吉村鎮座

住吉大社御由緒略記



